

## 会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	令和4年6月28日(火) 午後3時から午後4時まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館2階 大会議室	
出 席 者	委員等	浅井真司氏(委員長)、奥田英子氏(副委員長)、太田真理子氏、西村真理子氏、木水由美氏、近藤友香氏、鷹見みゆき氏、松下玲子氏、柏木由里子氏
	事務局	庄子教育長、石川教育部長、佐東生涯学習課長、関生涯学習課長補佐兼係長、長谷川主事  (株)図書館流通センター 島津図書館長、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 令和4年度「東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)」に係る計画書について(公開) 2 令和4年度「東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)」に関する方針について(公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容	<p>◆生涯学習課長 会議成立の報告を行う。 委員の任期について説明する。 今年度における委員の交代に伴う新委員について紹介する。</p> <p>◆教育長 <span style="float: right;">(挨拶)</span></p> <p>◆生涯学習課長 委員へ自己紹介を求める。 (委員及び事務局職員が自己紹介を行う。)</p> <p>◆生涯学習課長 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題1 「令和4年度東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)に係る計画書について」を議題として、事務局からの説明を求める。</p>	

◆事務局

資料に基づき、各関連機関からの計画書取組内容について説明する。保育園・児童館・子育て支援センター、健康課、生涯学習課、図書館、小中学校の順番に報告を行う。保育園・児童館・子育て支援センターの説明については、西村委員及び木水委員へ報告を求める。

以降は委員長が議事を取り回す。

◇委員

各保育園、児童館、子育て支援センターの計画報告を行う。

◆事務局

健康課、生涯学習課、図書館、小中学校の計画報告を行う。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。

(質疑意見なし)

議題1に関する質疑応答を締め切り、議題2「令和4年度東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）に係る方針について」を議題として事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料2に基づき、令和3年度に町内小学校3、4年生へ実施したアンケート結果について報告。令和4年度の子ども読書活動推進計画に係る実施方針について説明する。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員

- ・資料1に記載のあるように、東浦町は保育園や児童館をはじめとして、全町的に読み聞かせ活動を行っている。小中学校でも教師による読み聞かせ活動を実施しており、教師による読み聞かせを全町的に行う取り組みは、他市町と比べて東浦町の特徴であり、すばらしい取り組みであると思う。資料2のアンケート結果を見ると、7割程度の町内小学校3・4年生が「読書が好き」と答えている。外国籍や家庭の事情がある子どもがいる中、多くの子どもが読書好きであることはすばらしい結果である。
- ・読み聞かせをはじめとした読書推進が、子ども達の読書力に直結しているということを、実際に読書推進をしている教師に伝わると、教師としてもやりがいを感じる事ができると思う。アンケート結果をまとめた資料が学校に届いても、図書館担当教員には情報が届くが、各教師までは、伝わりづらいのかもしれない。計画に基づいた各機関の取り組みが、成果として表れていることを各機関の直接子どもと関わる職員等へ情報発信することも必要であると思う。

◇委員長

議題2について質疑を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題3は特になしを報告する。

◇委員長

他の意見がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

各機関の情報共有の場として、情報や意見を募る。

◇委員

- ・読み聞かせボランティアとして、公園での読み聞かせ活動を行った。読み聞かせの内容と関連して、子どもたちに、公園の木の葉の香りを嗅がせる体験をさせた。子どもたちにとっては、このような経験が新たな興味、発見につながることもあるため、読み聞かせに内容に関連する実物に触れさせる機会を設ける工夫を行うことがある。

◆事務局

- ・資料1の保育園計画書「①読み聞かせ事業の継続」について、藤江保育園の取組が、「ボランティアによる定期的な読み聞かせをする」という記載になっている。その他の保育園は保育士が読み聞かせをする旨の記載があるが、どのような違いがあるのか。

◇委員

- ・藤江保育園でも保育士が読み聞かせをするが、地域ボランティアによる読み聞かせ活動も昔から続いている。ボランティアのみなさんが大変協力的で、子どもたちもボランティアによる読み聞かせを楽しみにしている。

◆事務局

- ・他の保育園でもボランティアによる読み聞かせ活動はあるのか。

◇委員

- ・ボランティアによる読み聞かせ事業を行う園と、行わない園があり、保育園によって異なる。

◆事務局

- ・各学校の当計画推進に係る教員の協力が、成果につながっていることを、教員の皆さんに伝えるためには、どのような方法があるか。

◇委員長

- ・自分の立場からすると、校長会にて、本日の当会議の内容を踏まえて報告させていただければ、各校で情報が共有される。

◇委員

- ・学校で教育に携わっているが、以前の学習指導要領と比べると、現在は、国語以外の教科であっても、読む力がないと、回答が難しい問題が増えている。東浦町のように子どもの読書力を高める取り組みは、すぐには成果として表れないかもしれないが、長い目でみると非常に重要な事であると思う。電子タブレットの活用が普及してきており、無機質な言語から学ぶことも、これからの時代は必要であるが、人間的な心情を育むためには、有機的な読書から得られる言語に触れることが必須であると思う。子どもにとって、電子機器と紙媒体の情報ツールの兼ね合いが重要である。
- ・児童館で本を借りる子どもや保護者が増えてきたため、児童館のお便りに、児童館に蔵書して欲しい本や、読んで欲しい本の要望を募集する旨の記事を掲載し、児童館の親子活動の日に周知している。要望のあった、しかけ絵本や児童書を蔵書として購入していきたい。
- ・読み聞かせボランティアとして、以前は保育園や小学校から読み聞かせ派遣依頼をいただくことが多かったが、最近はそのような要請がないのか、小学校へ読み聞かせに行く機会が減ってしまった。自分で読書できる高学年であっても、読み聞かせを大変楽しんでくれた経験があるため、学校への読み聞かせボランティアの派遣希望があれば、図書館に知らせていただきたい。
- ・子どもたちは、電子タブレットの使用に親しんでいるが、電子タブレットの使用で得られる情報量が多く、情報を得る手段として、電子化に偏りすぎるのは、子どもの環境として好ましくない。家庭での読書を推進するためには、保護者が、紙媒体の本に触れさせる環境を提供する必要があると思う。電子図書館が開始されたが、紙媒体の本だからこそ得られる良さがあるため、電子機器と紙媒体の情報ツール兼ね合いが重要である。
- ・読み聞かせの良さはページをめくる時の間合いなど、本の内容以外にも、その場の雰囲気を含めて感じ取ることができるものが多いことである。誰かに読んでもらうことによって、新たな視点で物事を考えるきっかけになることも、読み聞かせの良さである。小学3、4年生頃は自分の好きな本のジャンルが分かれる時期であり、好みにも偏りが生じやすい。町内の小中学校でも読み聞かせ活動をしていただいているが、子どもが読み聞かせによって、新たな興味や好みを見つけられるよう、学校で様々なジャンルの本で読み聞かせ活動をして欲しい。
- ・学校で担任による読み聞かせ活動を実施予定であるが、本日の議事内容にあったように、本の内容に関係のある実物を子どもに見せたり、

野外を会場としたりする工夫を行いたいと思う。

- ・資料2の結果を見て、自分自身も子どもが小さい頃は、積極的に子どもへ読み聞かせをしていたが、子どもが大きくなってきたため、親子で一緒に過ごす時間が減ってきていると改めて感じた。親子読書などを通じて親子のコミュニケーションを深めていきたいと思った。

◆事務局

事務連絡として、次回の会議は3月上旬に予定していることを案内。挨拶をして会議の終了を宣言する。